

# あぷろうち

~ approach ~



日本労働組合総連合会  
群馬県連合会（連合群馬）

〒379-2166  
群馬県前橋市野中町361番地の2  
（群馬県勤労福祉センター2F）  
TEL.027-263-0555（代）  
FAX.027-261-0549

発行人 清村宗一  
編集人 小山利明

2004年1月号  
No.135

Eメール：info@gunma.jluc-rengo.jp  
URL：http://www.rengo-gunma.gr.jp/

## 迎春

自らの力と行動で切り開こう

安全で安心した地域社会の扉

明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで大きな期待と希望を抱いて、新たな年の幕開けを迎えられたことと思います。

昨年は、長引く不況から早期に脱却し、私たち勤労県民の生活基盤である雇用の安定・確保を図り、安心して暮らせる社会へと大きな一歩を踏み出す年となるよう期待を

抱いてスタートしました。しかし、一部で景気の底打ち感の兆しが見えたものの、本格的な回復基調には至らず、失業率も依然として5%台の高止まりの状況が続いています。

また、年末を控え身近な足利銀行の突然の経営破綻は、県内の中小・地場企業や地域経済への深刻な影響が危惧され、雇用問題の増幅が懸念されるなど、先行き不透明感が高まる中で幕を閉じました。

このような中で連合群馬は、昨年の10月に第8回定期大会を開催し、2年間の総括を行いました。そして、連合群馬の強みは、「12地協を中心に県内全域を網羅した組織基盤とネットワークに加え、地域経済の安定と発展に関わる重要な産業・企業で働く、それぞれが得意技を持った産別・単組の勤労者集団である。」ことを改めて自覚し、産別・地協・県連合の「知恵と力合わせ」のための組織改革を断行し、より機能的かつ行動的な組織運営と執行体制の確立を図り、決意も新たにスタートし

ました。

本年は、組織の総力を挙げて、「連合群馬、実践と行動の年」と位置づけ、雇用問題は連合群馬が主体となって「群馬県地域労使就職支援事業」に取り組み、自らの力で雇用のミスマッチ解消に向けて直接行動を起こすとともに、連合傘下の組織を挙げて勤労県民、地域住民からの相談機能と行政との交渉を強化し、労働環境の改善に向けて地域社会に打って出る取り組みに着手するなど、執行部一同果敢に挑戦していく決意であります。

連合運動の舞台は「地域社会」。その舞台で演じる役者は「産別・地協・県連合に集う勤労者」。監督とギャラリイは「県民・地域住民」。運動方針をシナリオとし、「参画・行動・挑戦」をキーワードに皆さんとともに労働運動、労働組合の存在感を高めることに全力投球し、安心・安全な社会の扉を自らの力で切り開く一年としましょう。

本年もよろしく願いたします。

会長 大川栄八郎

